

平成 30 年度事業報告書

I. 事業の状況

1. 奨学金支給事業

(1) 平成 30 年度新規奨学生の選考・採択

- 1) 13 の大学（国立 8 ・私立 5）に依頼し、26 名の候補者（男性 9 ・女性 17）の推薦をいただいた。
- 2) 平成 30 年 2 月 24 日開催の選考委員会にて奨学生の選考が行われ、16 名（男性 7 ・女性 9）を平成 30 年度新規奨学生として採択した。
- 3) 大学別候補者と採択者の内訳は下表のとおりである（カッコ内は採択者数）。

【平成 30 年度 大学別候補者（採択者）内訳表】

（単位：名）

	中国				韓国	ラオス	モンゴル	台湾	英国 (香港)	ベトナム	合計
	香港	内モンゴル	ウイグル 自治区	左記 以外							
群馬大学				1		1(1)					2(1)
慶應義塾大学	1(1)			1							2(1)
国際医療福祉大学				1(1)				1(1)			2(2)
拓殖大学		1						1(1)			2(1)
筑波大学			1(1)	1							2(1)
東京医科歯科大学			1(1)				1				2(1)
東京外国語大学				1(1)				1			2(1)
東京藝術大学				1(1)					1		2(1)
東京工業大学					1(1)			1			2(1)
東京大学				1(1)			1(1)				2(2)
東京農工大学				1(1)						1(1)	2(2)
日本大学				1(1)				1			2(1)
早稲田大学				1(1)						1	2(1)
合計	1(1)	1	2(2)	10(7)	1(1)	1(1)	2(1)	5(2)	1	2(1)	26(16)

(2) 前年度から平成 30 年度への継続奨学生について

前年度（平成 29 年度）に新規採択された奨学生 23 名のうち 9 名が、平成 30 年 3 月末に卒業・就職により当財団を離れ、平成 30 年度への継続奨学生は 14 名（男性 5、女性 9）となった。

(3) 平成 30 年度的全奨学生の状況

上記（1）の新規採択奨学生 16 名と（2）の継続奨学生 14 名を合わせ、平成 30 年度の奨学生総数は 30 名となった。その内訳（新規・継続別、国籍別、大学別、学部・大学院課程別、専攻分野別）は、以下の通りである。

【平成 30 年度 全奨学生の新規・継続別内訳表】

(単位：名)

奨学生数	男性	女性	合計
平成 30 年度新規採択	7	9	16
前年度からの継続	5	9	14
合 計	12	18	30

【平成 30 年度 全奨学生の国籍別内訳表】

(単位：名)

国 籍	男性	女性	合計	
中 国	7	7	14	
内 訳	(香港)	(1)	(1)	
	(内モンゴル)	(2)	(2)	
	(ウイグル自治区)	(1)	(2)	(3)
	(上記以外)	(6)	(2)	(8)
インドネシア	1	1	2	
韓国	1	3	4	
ラオス		1	1	
モンゴル		1	1	
フィリピン	1		1	
シンガポール	1		1	
スリランカ	1		1	
台湾		2	2	
タジキスタン		1	1	
タイ		1	1	
ベトナム		1	1	
合 計	12	18	30	

【平成 30 年度 全奨学生の大学別内訳表】

(単位：名)

大 学 名	奨学生数	大 学 名	奨学生数
国立 (9 大学)		私立 (6 大学)	
群馬大学	2	慶應義塾大学	2
筑波大学	3	国際医療福祉大学	2
東京医科歯科大学	2	拓殖大学	2
東京外国語大学	2	東海大学	1
東京藝術大学	2	日本大学	1
東京工業大学	2	早稲田大学	2
東京大学	4		
東京農工大学	2		
一橋大学	1		
小計	20	小計	10
合 計		合 計	30

【平成 30 年度 全奨学生の学部・大学院課程別内訳表】

(単位：名)

	男性	女性	合 計
学 部	3	3	6
大 学 院	9	15	24
(修 士)	(4)	(8)	(12)
(博 士)	(5)	(7)	(12)
合 計	12	18	30

【平成 30 年度 全奨学生の専攻分野別内訳表】

(単位：名)

専攻分野	男性	女性	合 計
人 文 科 学	2	4	6
社 会 科 学	1	6	7
理 工 学	6	6	12
芸 術	1	1	2
医 学	2	1	3
合 計	12	18	30

(4) 奨学金の支給

奨学生に対し、月額 15 万円の奨学金を、平成 30 年 4 月より平成 31 年 3 月まで月次交流会の席上で支給した。

2. 奨学生交流事業

(1) 月次交流会の開催

- 1) 毎月 1 回（8 月を除く）、土曜日に奨学生原則全員参加による交流会を開催した。財団からは、辻信太郎理事長、野村高章副理事長、東野郁代常務理事、事務局長（4 月～7 月：中野礼子、9 月～3 月：菊地俊子）、事務局職員、その他関係者が適宜出席した。4 月交流会には選考委員の先生方にご出席いただき、奨学生に激励の言葉をいただいた。
- 2) 交流会では、奨学金支給のほか、懇談・会食を通じて友好を深め、下記の通り、奨学生による各国の文化紹介と、財団事務局からは日本の伝統文化（行事）の紹介・体験により、文化交流を図り国際相互理解を深めた。

	各国文化紹介	各国文化体験	その他
平成 30 年 4 月	新奨学生の歓迎 (辻理事長、江森評議員、選考委員の先生方のお話、幹事会役員挨拶、奨学生自己紹介スピーチ)		
5 月	レクリエーション交流会 (ボウリング、野村副理事長のお話、奨学生代表のスピーチ、自己紹介を兼ねたレクリエーション)		
6 月	「各国の独特な伝統行事」 ①中国②インドネシア③スリランカ	タジキスタンの遊び 「Bandkashi (紐ひっぱり)」	辻理事長・野村副理事長・ 江森評議員のお話
7 月	サンリオピューロランド交流会（野村副理事長のお話、懇談・会食、ショー観覧）		
9 月	「各国の独特な伝統行事」 ①タイ②フィリピン		辻理事長・江森評議員のお話 9 月卒業生の歓送（卒業生のスピーチ、継続生による歓送の言葉、独唱）
10 月	旅行交流会（奨学生代表 3 名による山梨方面研修交流旅行の感想スピーチ）		
11 月	各国の独特な伝統行事 ①タジキスタン②ラオス③香港	フィリピンの遊び 「エクステンジザバスケット」	辻理事長・野村副理事長・ 江森評議員のお話
12 月	日本文化紹介 「お正月」の紹介	日本文化体験 「お正月の遊び」の体験	辻理事長・野村副理事長のお話
平成 31 年 1 月	各国の独特な伝統行事 ①中国(内モンゴル)②台湾③ベトナム	韓国の遊び 「ユッノリ」	辻理事長・野村副理事長・ 江森評議員のお話
2 月	「各国の独特な伝統行事」 ①中国（ウイグル自治区）②韓国 ③モンゴル	中国の遊び 「羽根蹴り（ジェンズ）」	辻理事長・野村副理事長・ 江森評議員のお話
3 月	卒業生歓送（辻理事長、江森評議員、上松理事のお話、奨学生によるパフォーマンス、卒業生のスピーチ、継続生の歓送の言葉）		

(2) 地方交流旅行の実施

1) 山梨方面一泊二日研修交流旅行

平成 30 年 10 月 12 日 (金) ~ 13 日 (土) に、奨学生 26 名、財団関係者 4 名が参加して、山梨方面へ一泊二日研修交流旅行に行った。山梨県立リニア見学センターで日本の最新技術や山梨県立美術館で芸術に触れ、また自然に親しみ、旅行を通じて交流を更に深めた。

(3) 新奨学生懇談会の開催

平成 30 年 4 月 21 日 (土) に、平成 30 年度新規採択奨学生 16 名の出席を得て、財団の事業や交流行事についての説明と奨学生相互の顔合わせのために懇談会を開催した。

(4) 交流資料の刊行

1) 会報誌「国際交流 みんな仲良く」の刊行

「国際交流 みんな仲良く」をリニューアルし、3 月に、奨学生アルバムの内容を包括した第 16 号を刊行した。巻頭言は辻信太郎理事長、「奨学生へのメッセージ」執筆者と特集テーマ内容は次の通りである。

号 (発行年月)	「奨学生へのメッセージ」 執筆者と表題	奨学生執筆の特集テーマ内容
第 16 号 (平成 31 年 3 月)	柳田正義監事 「まさに一隅を照らす」	※下記テーマから 1 つ選び、作文 テーマ① 「辻国際奨学財団と私」 テーマ② 「みんな仲良く助け合うということ」 テーマ③ 「私の将来の夢」

(5) 奨学生による幹事会の開催

奨学生代表 19 名で幹事会を組織し、4 月、6 月、9 月、11 月、12 月、1 月、2 月、3 月に幹事会を開き、毎月の交流会その他の交流行事の企画・運営、および交流資料 (会報誌) の特集テーマについて等を相談した。

3. 奨学生に対する相談事業

奨学生の勉学環境をより良いものとするため、奨学生から相談を受け、示唆や助言を行った。平成 30 年度の相談内容は、主に日本企業への就職活動についてであった。

4. 奨学金支給修了者の交流事業

辻国際奨学財団、辻アジア国際奨学財団の奨学金支給修了者 (以下、OB・OG と記載) の友好親善関係を継続発展させるため、8 月 18 日 (土) に OB・OG 交流会を開催した。主に日本在住の OB・OG (辻国際奨学財団 15 名・辻アジア奨学財団 27 名) 計 42 名と財団関係者 10 名、計 52 名が出席し、OB・OG ひとりひとりによる近況報告スピーチや会食懇談で交流と友好を深めた。

その他、OB・OG からのメール、ホームページ内の「連絡フォーム」からの連絡、電話等による相談、依頼等に適宜対応した。

II. 管理運営の状況

1. 評議員会、理事会、その他の会議開催状況

(1) 評議員会

開催日	会議名	議題	備考
平成30年6月15日	平成30年度第1回 定時評議員会	【報告事項】 ・「平成29年度事業報告及び附属明細書の報告」の件 【決議事項】 ・第1号議案 「平成29年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認」の件 ・第2号議案 「特別寄附金の承認」の件 ・第3号議案 「定款の変更」の件 ・第4号議案 「評議員2名の選任」の件 ・第5号議案 「理事10名の選任」の件	報告 可決 可決 可決 可決

(2) 理事会

開催日	会議名	議題	備考
平成30年5月25日	平成30年度第1回 理事会	【決議事項】 ・第1号議案 「平成29年度事業報告及び附属明細書の承認」の件 ・第2号議案 「平成29年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認」の件 ・第3号議案 「特別寄附金の承認」の件 ・第4号議案 「株式の議決権行使の承認」の件 ・第5号議案 「顧問の承認」の件 ・第6号議案 「定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等」の件 【報告事項】 ・代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告	可決 可決 可決 可決 可決 報告

平成 30 年 6 月 25 日	平成 30 年度第 2 回 理事会 (決議の省略の方法による)	1. 辻信太郎理事を代表理事（理事長）に選定する ※重任 2. 野村高章理事を代表理事（副理事長）に選定する ※重任 3. 東野郁代理事を常務理事（業務執行理事）に選定する ※重任	可決 可決 可決
平成 30 年 8 月 23 日	平成 30 年度第 3 回 理事会 (決議の省略の方法による)	1. 下記の者を選考委員とすることを承認する ・阿部新氏 ※新任（補欠） ・神崎忠昭氏 ※新任（補欠） 2. 下記の者を事務局長とすることを承認する 菊地俊子	可決 可決
平成 31 年 2 月 15 日	平成 30 年度第 4 回 理事会	【決議事項】 ・第 1 号議案 「平成 31 年度事業計画書及び収支予算書の承認」 の件 ・第 2 号議案 「選考委員の承認」 の件 ・第 3 号議案 「公益目的事業資金等管理規程の新設」 の件 ・第 4 号議案 「特別寄附金の承認」 の件 【報告事項】 ・代表理事及び業務執行理事職務執行状況報告	可決 可決 可決 可決 報告

(注) 決議の省略については、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 96 条及び定款第 34 条に基づき、理事全員から書面による同意の意思表示を得、監事全員から書面により異議がない意思表示を得たため、理事会の決議があったこととみなした。

(3) その他の会議

会議名	開催日	内容	備考
選考委員会	平成 31 年 2 月 23 日	平成 31 年度新規奨学生を選考	34 名の候補者から 17 名を選考

2. その他

(1) ホームページの運営

財団概要及び情報公開資料の掲示のほか、OB・OG からの連絡ツールとしての役割を持つホームページを運営した。

III. その他

平成 30 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。